

第1章 作業事例集一紙に印刷された図案を切断加工する (Adobe Illustrator 編)

- ・本資料は、レーザー加工機が正常にセットアップされていることが前提になります。
- ・本資料は、RSD-QS 用制御ソフト LaserCut が正常にインストールされていることを前提にしています。
- ・本資料は、Adobe Illustraror CS2 を使用しています。

① 紙に印刷された図案を切断加工する

紙に印刷されたロゴや図面などのデザインデータを切断加工する場合の事例です。

彫刻を行う場合は、スキャナで紙面内容を取り込んだあと、モノクロビットマップ化し、LaserCut でインポートすれば、加工可能です (スキャナの精度により、細部の修正が必要となる場合があります)。

切断を行う場合は、スキャナで取り込んだ画像データを使用して、Adobe Illustrator を使ってパスデータを作成します。

② スキャナでデータ取り込む

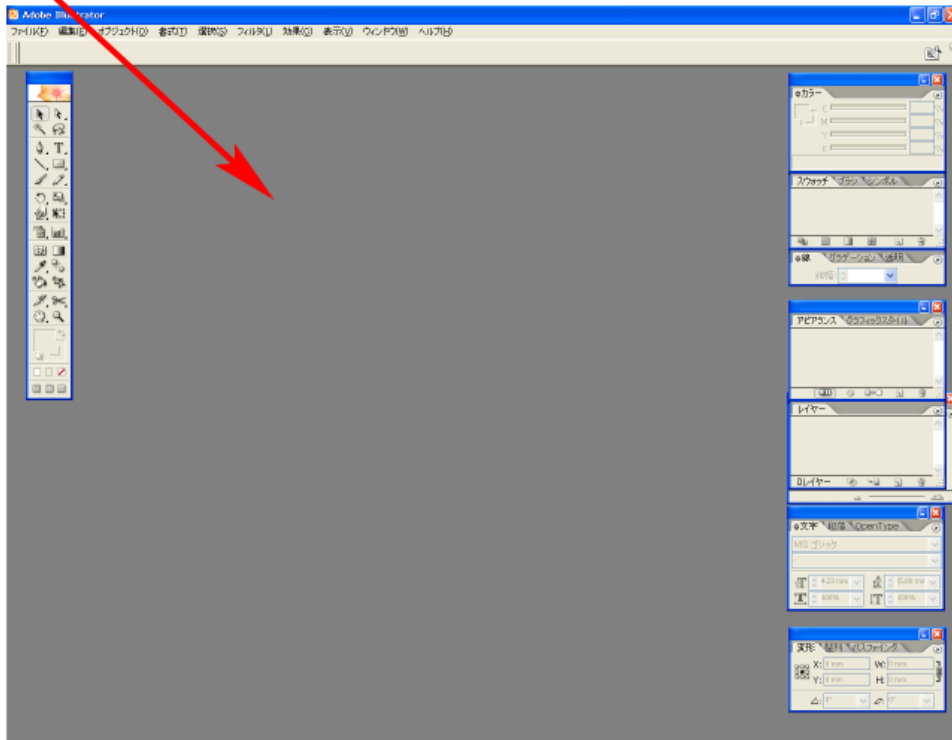
紙の図案をスキャナで取り込んでください。スキャナでの読み込みにつきましては、内容によって、ご使用の機種の設定に従ってください。一般的には 300dpi 以上の解像度で読み込みます。

③ Adobe Illustrator で読み込む

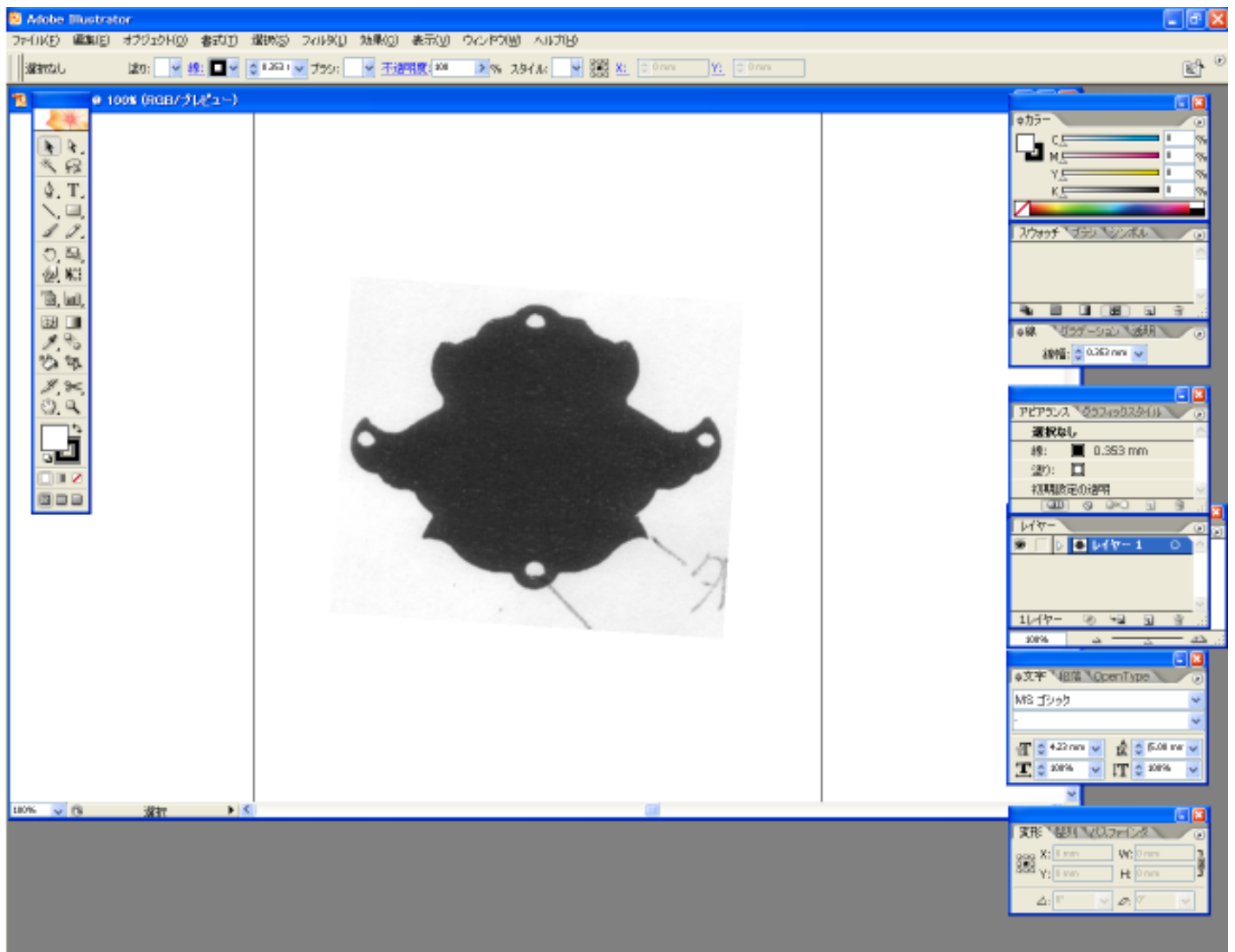
スキャナで取り込んだ画像データを Adobe Illustrator に読み込ませます。Illustrator のドキュメントがない部分にドラッグ・アンド・ドロップすれば、新規ドキュメントが作成され、画像データが表示されます。



スキャナで取り込んだ画像ファイルをIllustratorに
ドラッグ・アンド・ドロップします



Adobe Illustrator にスキャンデータが取り込まれました。



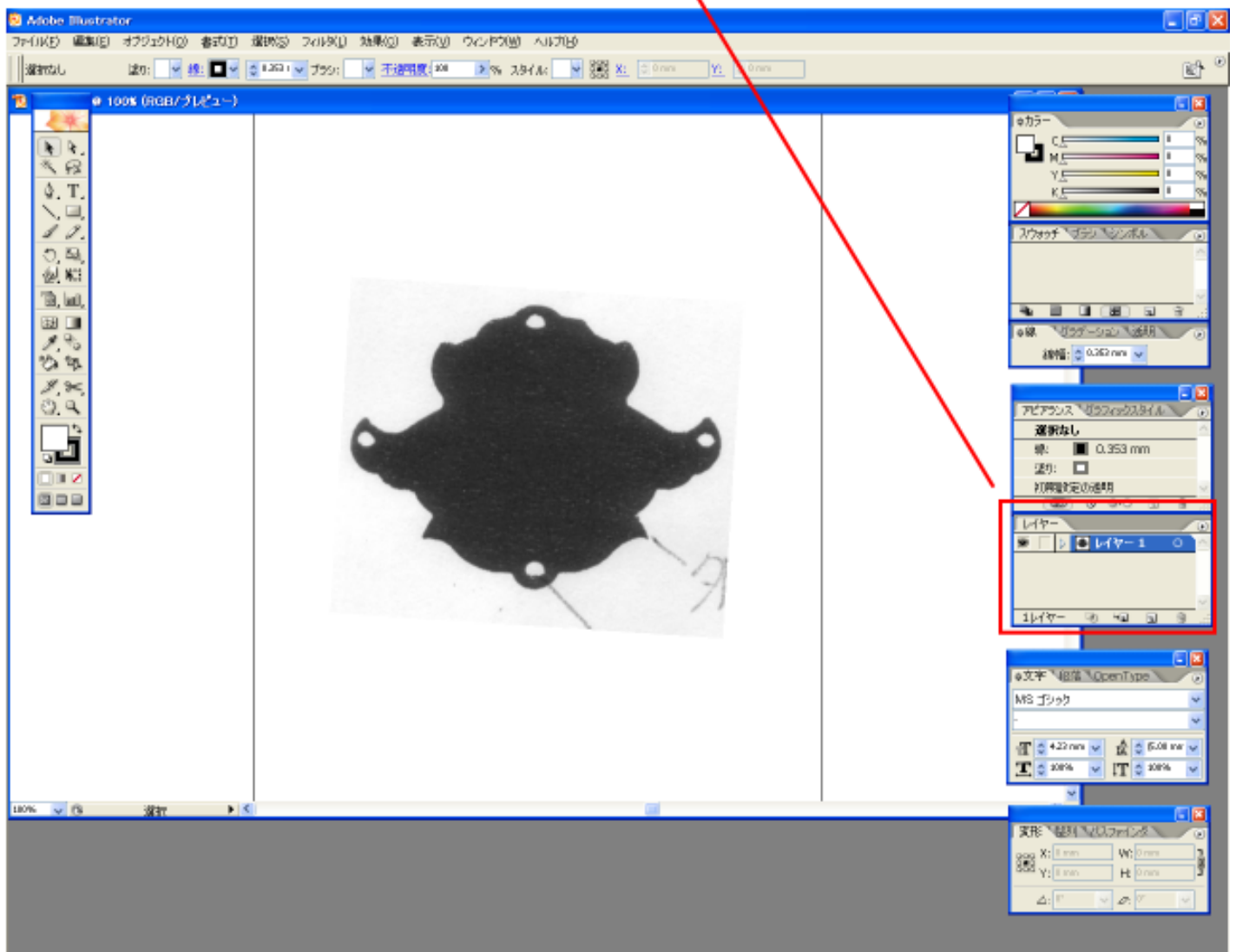
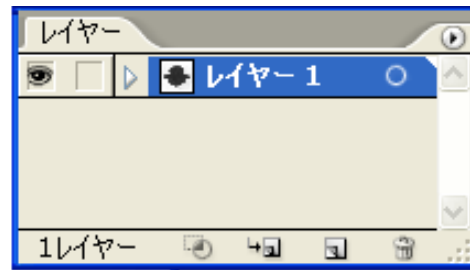
④ Adobe Illustrator パスを生成する

パスデータを作成する方法はいろいろとありますが、ここではもっとも初心者向けの方法で行います。

1. レイヤーを作る

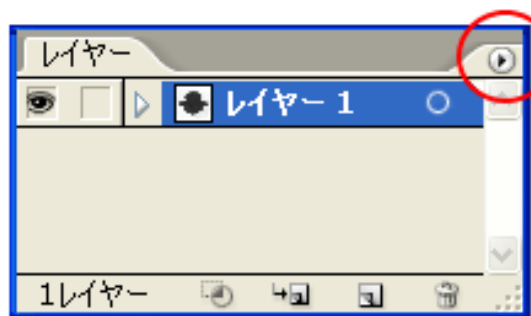
パスデータ用のレイヤーを作成します。レイヤーはレイヤーペインで作成します。レイヤーペインが表示されていない場合は、メニューの「ウィンドウーレイヤー」をクリックして、表示させてください。

レイヤーペインが表示される場所は、下図と異なる場合があります。

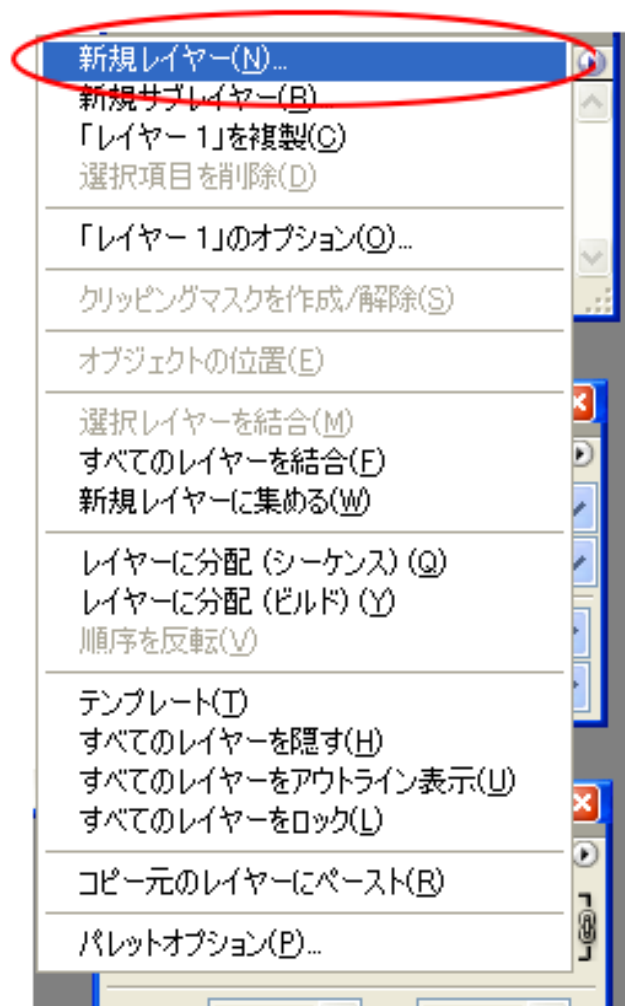


レイヤーペインにあるメニューボタンをクリックすると、メニューが表示されます。「新規レイヤー」をクリックしてください。

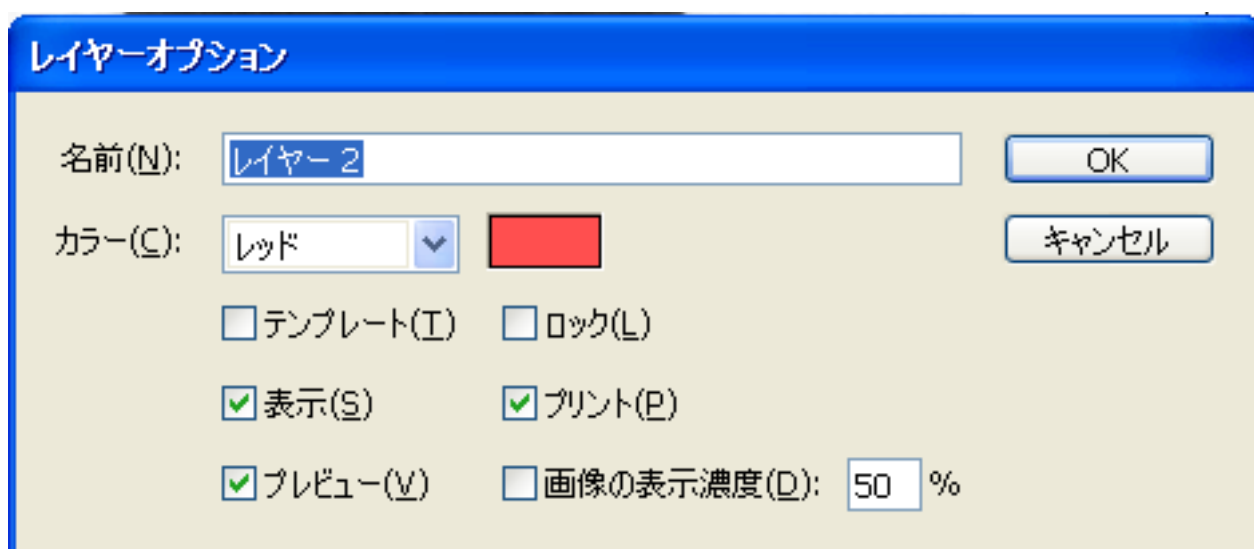
メニューボタン



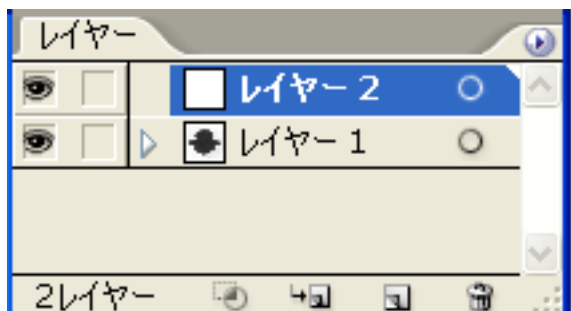
新規レイヤーをクリック



「レイヤーオプション」ダイアログが表示されるので、特に変更することなく、デフォルト表示のまま OK ボタンをクリックしてください。

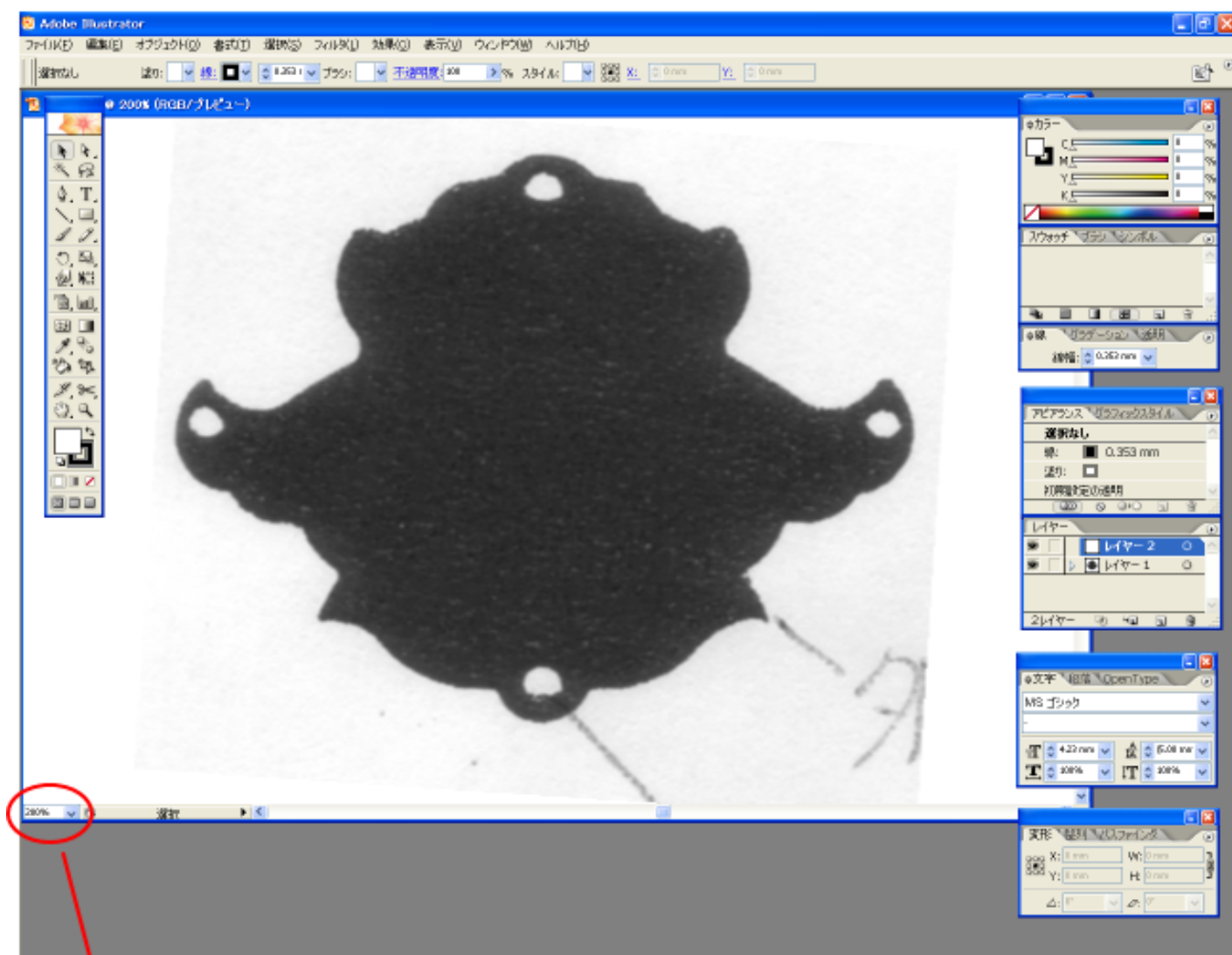


レイヤーペインにレイヤー 2 が追加されました。



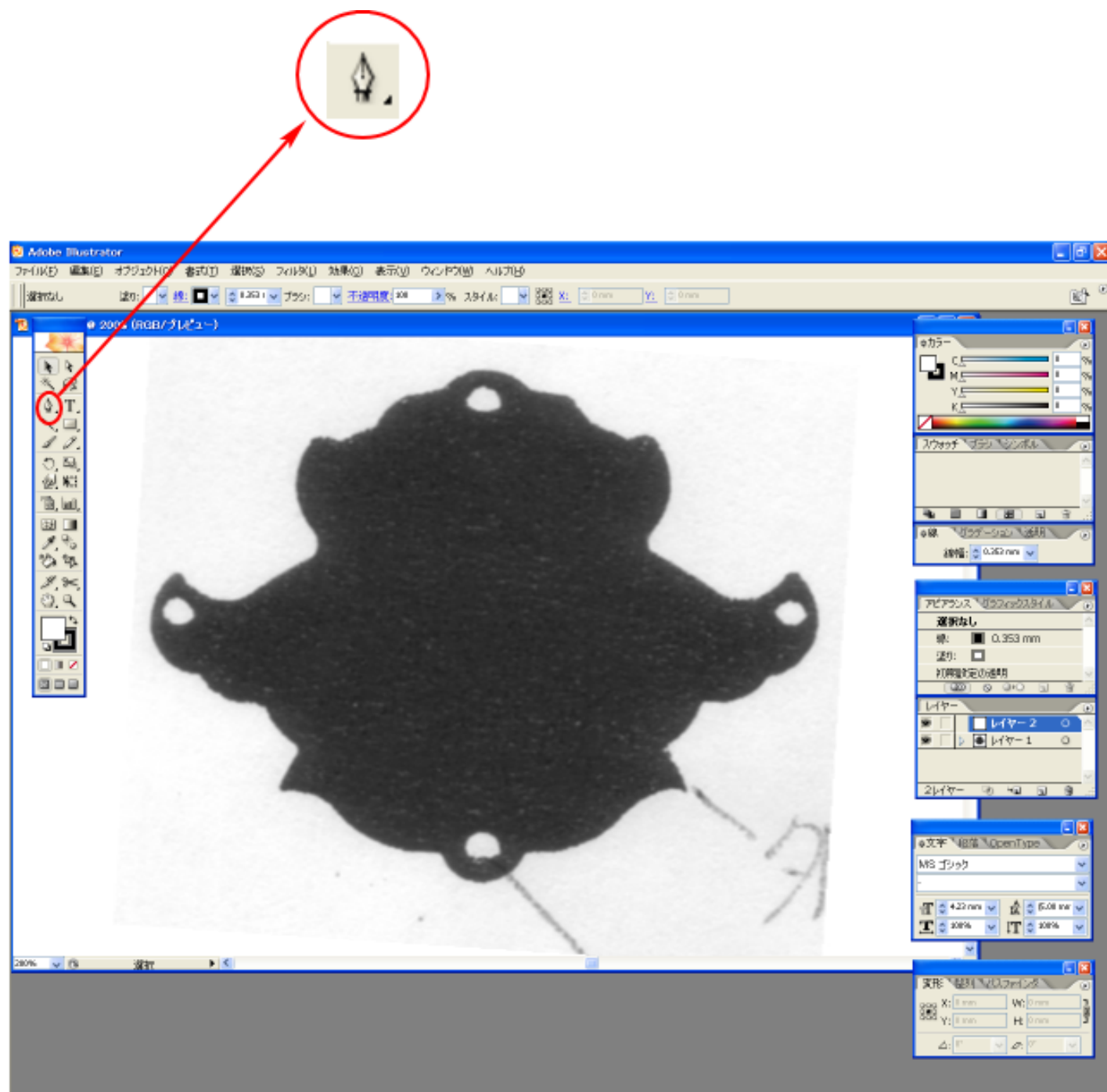
2. ペンツールで輪郭をトレースする

まず、表示倍率を見やすいサイズにします。倍率を大きめにするとトレースがしやすいです。

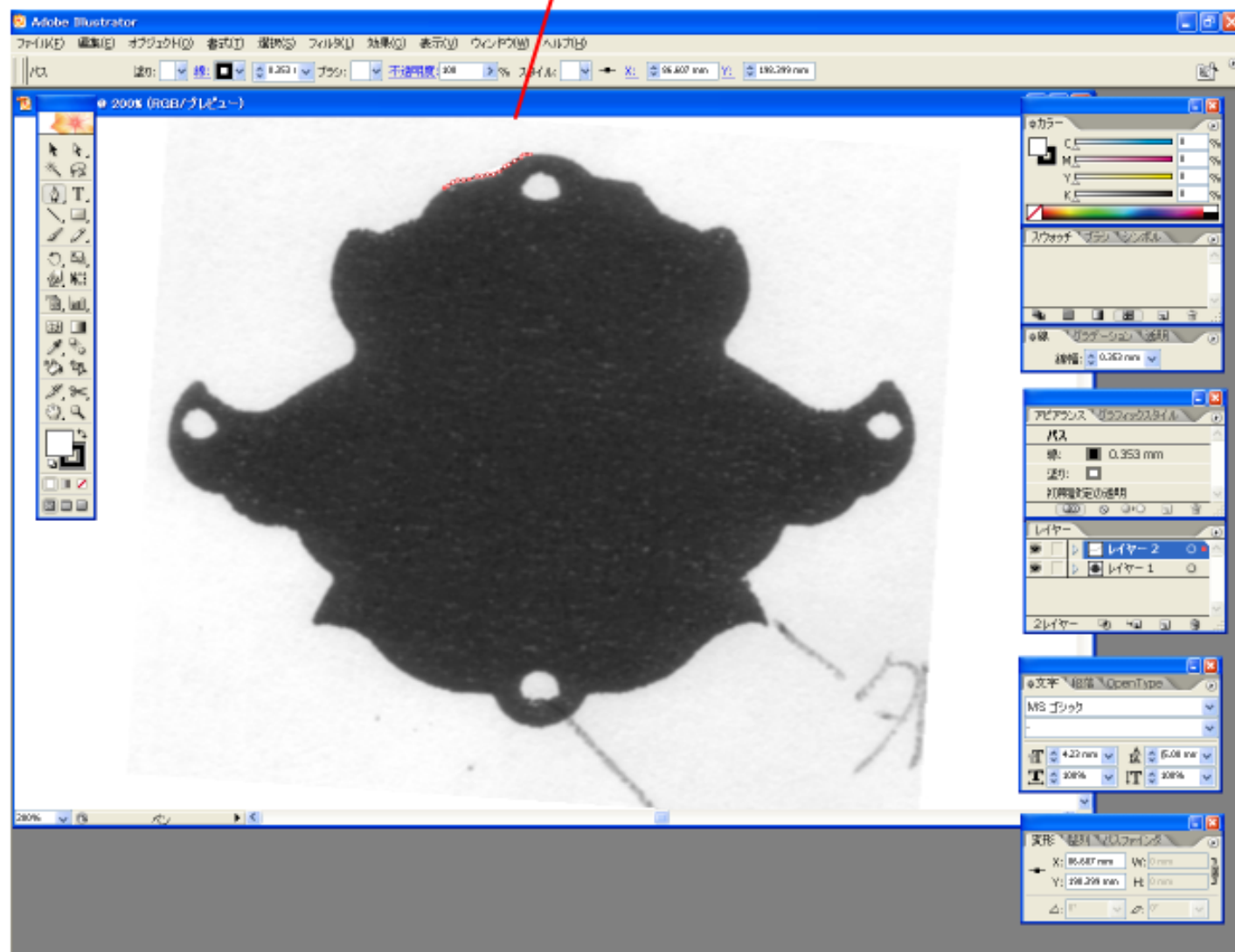
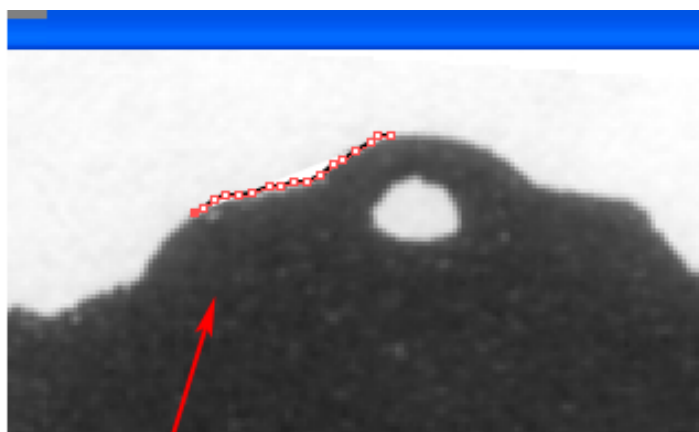


表示倍率を変更する

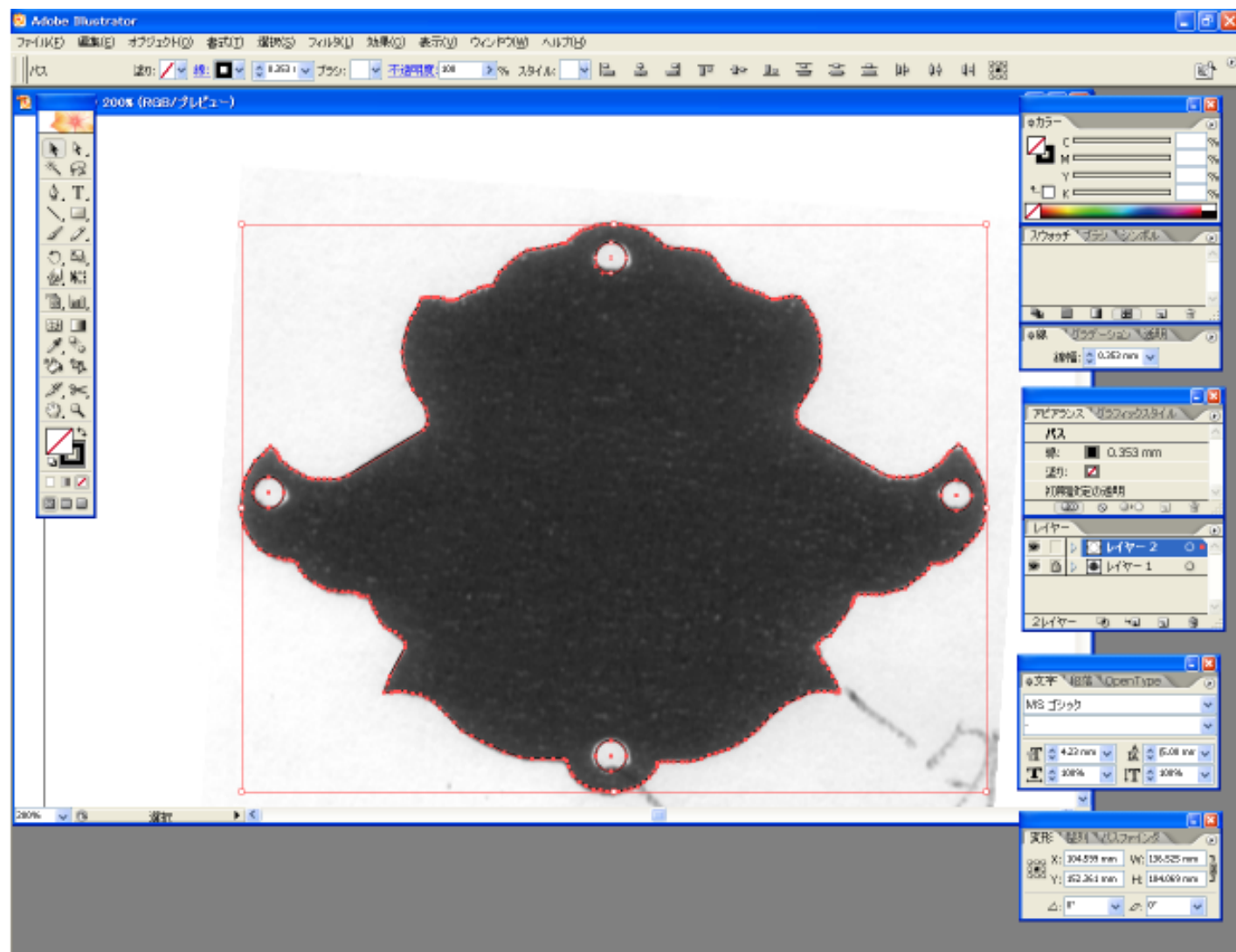
ツールペインのペンツールをクリックし選択します。



マウスカーソルがペンの形に変化するので、輪郭をなぞってクリックしています。

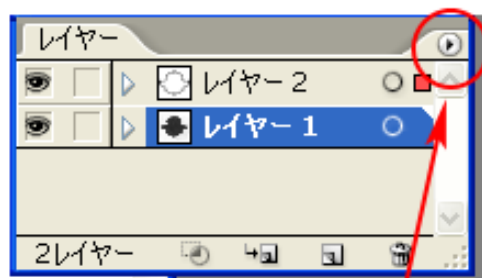
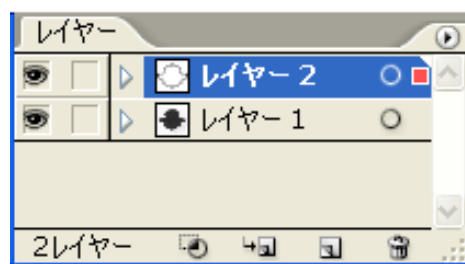


輪郭のペンの始点と終点が合うと、そこでトレースが終了し、次の場所のトレースが可能になります。
全ての輪郭をトレースします。

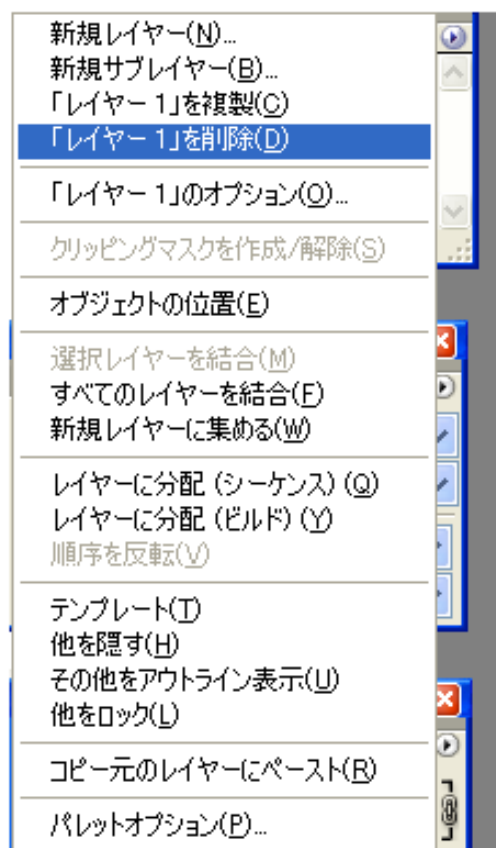


全ての輪郭のトレースが終わったら、レイヤーペインのレイヤー 1 を削除します。

レイヤー 1 をクリックして選択状態にする

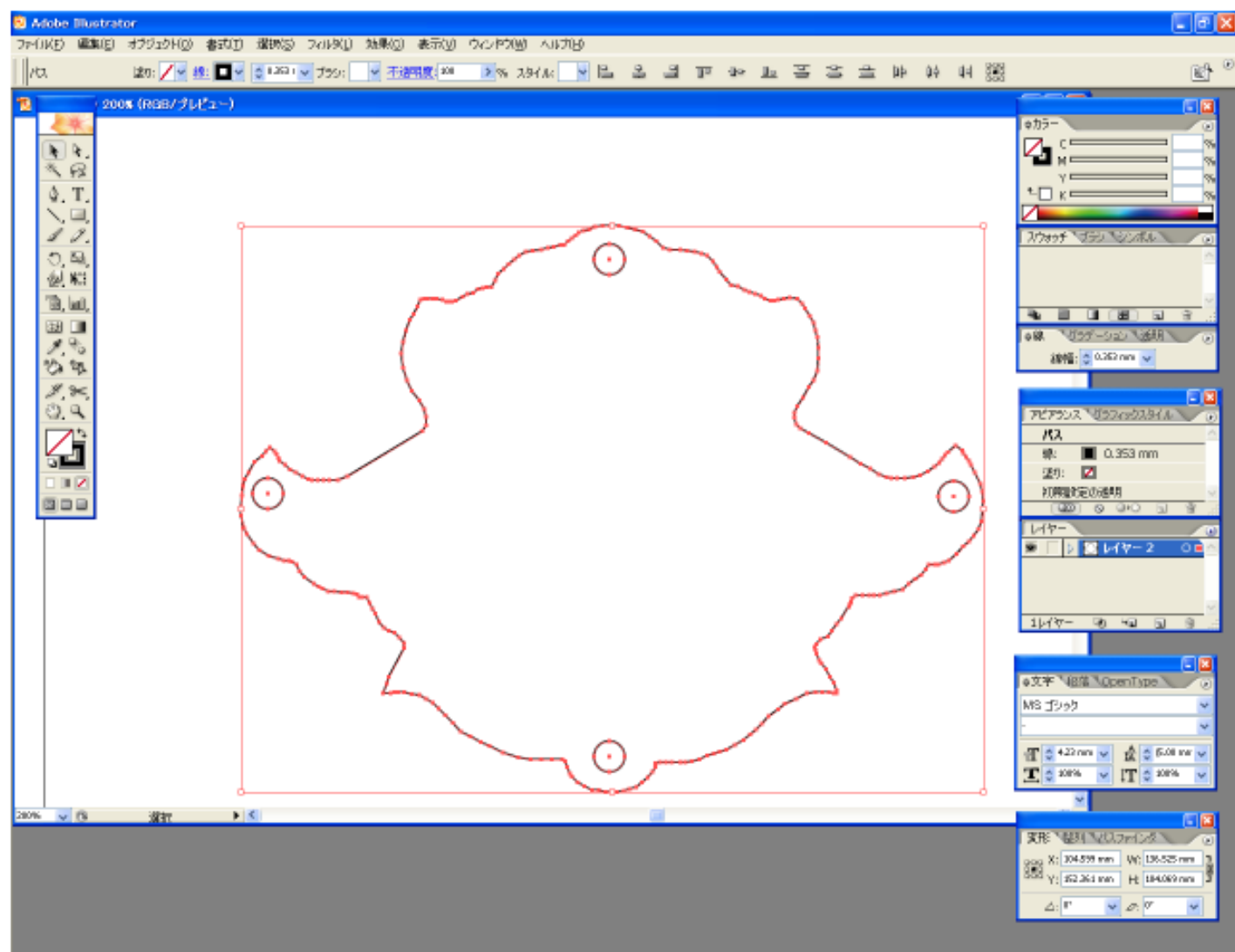


メニューボタンをクリックする



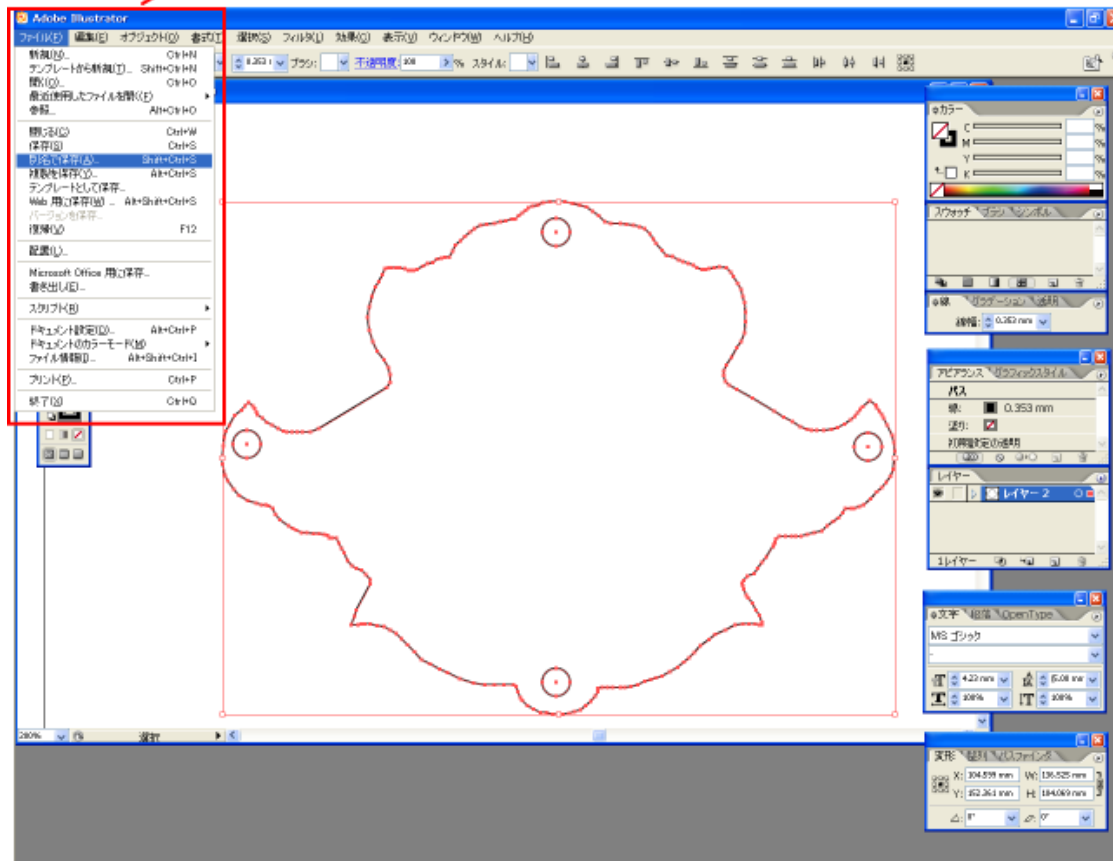
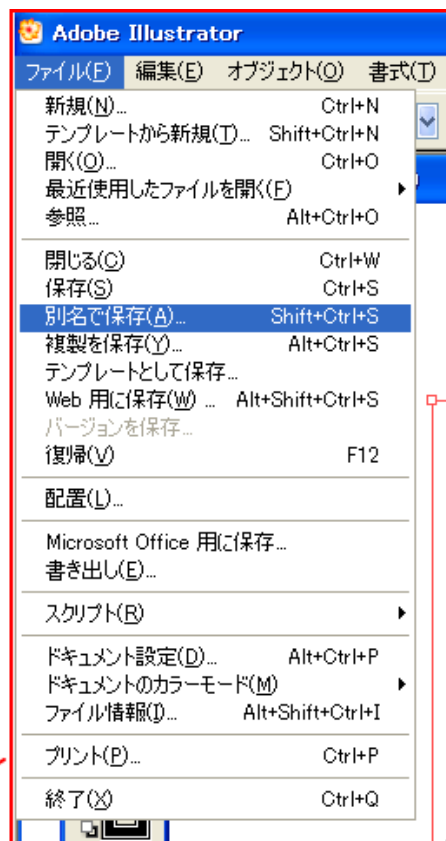
メニューの『「レイヤー 1」 削除』をクリックする

これでトレースは終了です。



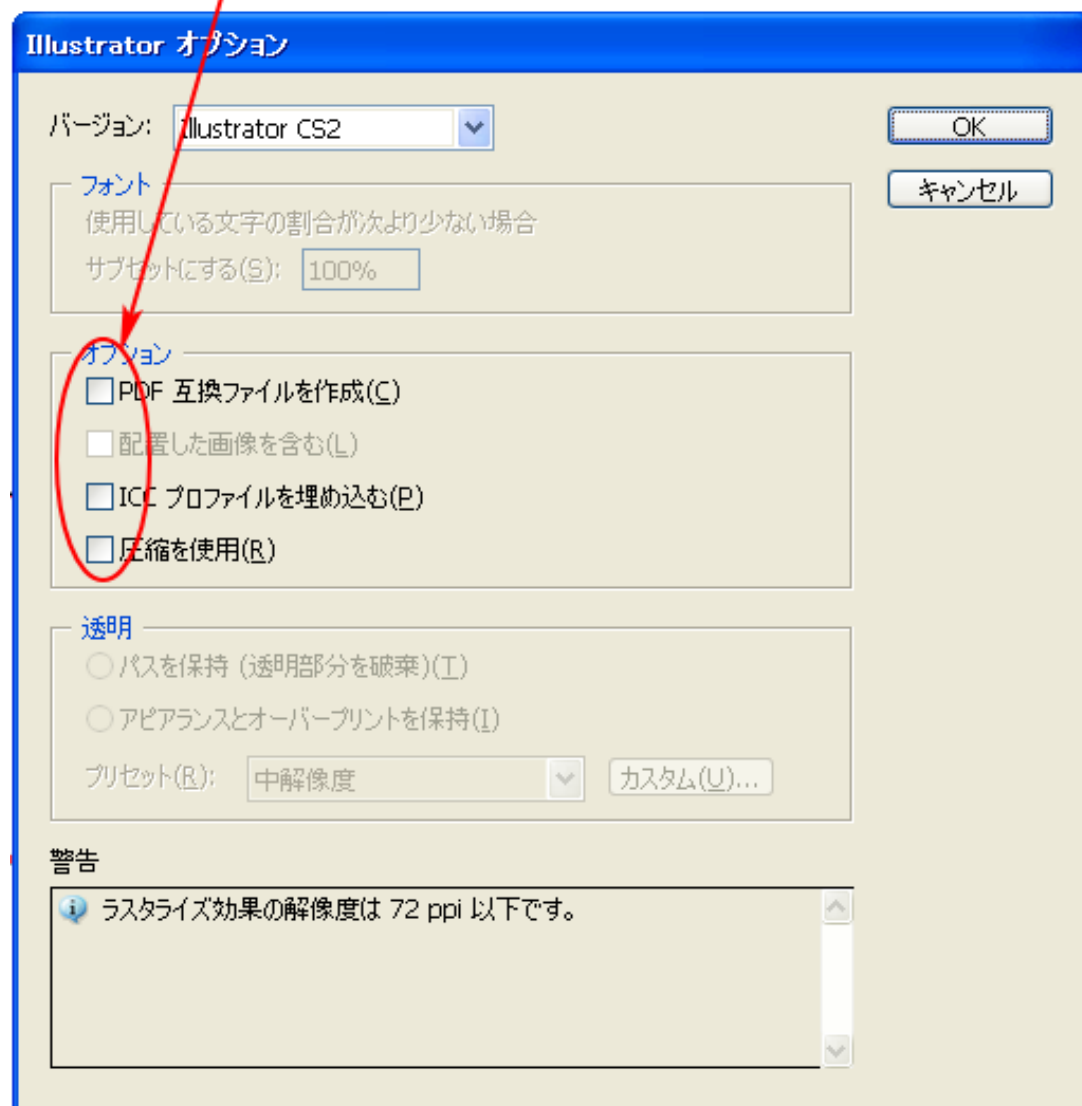
3. データを保存する

メニューの「ファイル」別名で保存」をクリックし、データを保存します。



保存時のオプションは、下図のように全てのチェックを外してください。

全てのチェックを外す



保存した Adobe Illustrator のデータをファイルを LaserCut でインポートすれば、「紙に印刷された図案を切断加工する」が可能となります。